

札幌医科大学附属病院腫瘍内科で診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

2024年9月3日

| | | | | |
|--------------|--|------------|----|-----------------------|
| ① 対象者 | 2019年1月1日から2022年12月31日に癌による胆管の閉塞に対して超音波内視鏡下胆管胃吻合術(EUS-HGS)を受けた患者さん | | | |
| ② 研究課題名 | 悪性胆道閉塞に対する超音波内視鏡下胆管胃吻合術における新規ステントの安全性・有用性の評価：多施設共同後ろ向き研究 | | | |
| ③ 実施予定期間 | 倫理審査委員会承認日 ～ 2026年12月 | | | |
| ④ 実施機関 | 静岡県立静岡がんセンター、埼玉医科大学総合医療センター、札幌医科大学附属病院、製鉄記念室蘭病院、王子総合病院、がん研有明病院、倉敷中央病院 | | | |
| ⑤ 研究代表者 | 氏名 | 佐藤純也 | 所属 | 静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科 |
| ⑥ 当院の研究代表者 | 氏名 | 高田弘一 | 所属 | 札幌医科大学附属病院 腫瘍内科 |
| ⑦ 使用する検体・データ | 電子カルテ情報 | | | |
| ⑧ 他機関への提供 | <input checked="" type="checkbox"/> (血液検査データ, 内視鏡検査関連情報, 診療記録) 無 | | | |
| ⑨ 提供先の責任者 | 氏名 | 佐藤純也 | 所属 | 静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科 |
| ⑩ 目的 | 閉塞性黄疸に対する治療の第一選択は内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)による胆管ドレナージ術ですが、胆管への到達が困難な場合などに超音波内視鏡下胆管胃吻合術(EUS-HGS)が行われます。しかし、治療関連の有害事象を認めることがあります。今回、比較的新しい金属ステント(EGIS)と既存の金属ステント(Niti-S)を使用した患者さんの治療成績を比較して、EGISの有効性・安全性を明らかにすることを目的に研究を行います。 | | | |
| ⑪ 方法 | 電子カルテのデータから、必要な情報を事務局で収集して、解析を行います。新たに追加検査を行うことはありません。 | | | |
| ⑫ 倫理審査 | 倫理審査委員会承認日 | 2024年8月28日 | | |
| ⑬ 公表 | 研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。 | | | |
| ⑭ プライバシー | 本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。 | | | |
| ⑮ 知的財産権 | 知的財産に関する権利(特許権等)は、札幌医科大学の規程に従って取り扱います。 | | | |
| ⑯ 利益相反 | 本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。 | | | |
| ⑰ 資料の参照 | 本研究について詳しく知りたい場合は、下記までご連絡ください。 | | | |
| ⑱ お問い合わせ | 連絡先 | 腫瘍内科教室 | 電話 | 011-611-2111(内線32540) |
| | 事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。 | | | |

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

札幌医科大学附属病院院長